故障かな?と思う前に

−おや?故障かなと思ったら…
修理を依頼される前に、もう一度お確かめください−

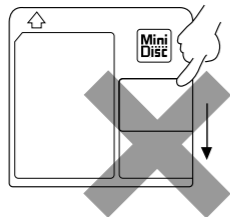
こんなときは	こうなっていませんか?	こうします
操作できない。	・MDが入っていない。（リモコンに「No Disc」が表示されている）	・MDを入れ「HELLO」や「T.READ」が消えるまで待つ。
演奏できない。	・ホールド状態になっている。（本体またはリモコン）	・本体またはリモコンのホールド状態を解除する。
	・内部のレンズに露がついている。	・MDを取り出し1〜2時間待つ。
	・充電式電池が消耗している。（LOW BATTが表示される）	・充電式電池を充電する。
音が出ない。	・何も録音されていないMDが入っている。（リモコンに「BLANK」が表示されている）	・録音済みのMDを入れる。
	・ヘッドホンが外れている。	・ヘッドホンをしっかり接続する。
1曲目から演奏がスタートしない。	・演奏中に止めたり、電源を切ったため。➡リジューム演奏になります。	・I◀◀ボタンを押して1曲目に戻す。
テレビの画面が乱れたりAM放送に雑音が入る。	・テレビやラジオなどのすぐ近くで使っているため。	・テレビやラジオなどから離す。
電源が入らない。	・本体とリモコンがホールド状態で演奏中に電池を交換したため。	・本体とリモコンのホールド状態を解除してから操作する。
充電時に充電中を表す本体のランプが点灯しない。	・充電端子が汚れている。	・本体および充電スタンドの充電端子を清掃する。
リモコンの表示窓が消える。	・パワーセーブモードになっているため。	・パワーセーブモードを解除する。
アラーム(スリープ)時間が表示されない。	・アラーム（スリープ）時間カウントダウン中に音量調節などをしたため。	・DISP.ボタンを2秒以上押すと表示されます。
表示窓に「READ ERROR」が表示され、操作できない。	・データの読み込みができない。	・もう一度MDを入れ直す。
「NO BATT」が表示され、充電できない。	・電池が逆に入っている。	・⊖側から先に入れる。
	・電池が入っていない。	・電池を入れる。

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは、いったん充電式電池を入れ直してください。**

MDについて

● いつまでも美しい音を保つために

ディスクそのものはカートリッジに入っていますので、ほこりや汚れを気にせず、手軽に取り扱えます。ただし、いつまでも美しい音をお楽しみいただくためには次のことに注意してください。

シャッターは開けないで
MDのシャッターは、開かないようにロックされています。無理に開けようとするとMDがこわれます。

置き場所に気をつけて
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の多いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

ポータブルMDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りの**サービス窓口**にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	ポータブルMDプレーヤー XM-C37
	お買い上げ店名	☎（　　）　−	
	最寄りのビクターサービス窓口	☎（　　）　−	

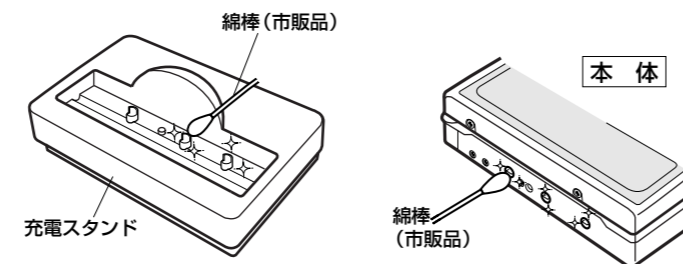
別売りのオプション品

カセットアダプター：CK-101　　接続コード（ステレオミニ）：CN-203A
充　電　式　電　池：BN-R129　　CN-201A

お手入れ

■本体のお手入れ

本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめて軽くふいたあと**からぶき**します。
・アルコールやシンナーなどは使用しない
・化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従う

■充電端子のお手入れ

充電端子が汚れていると、充電できないことがあります。
月に一度、市販の綿棒などを使って清掃してください。

主な仕様

−本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります−

形　式　ミニディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数　44.1kHz
音声圧縮方式　ATRAC／ATRAC 3(MD **LP**) 方式
チャンネル数　2チャンネル・ステレオ
周波数特性　20Hz〜20kHz±3dB（負荷インピーダンス47kΩ）
出力端子　ヘッドホン（ステレオ）×1　16Ω〜47kΩ
実用最大出力　3mW＋3mW（JEITA/DC）
電　源　DC1.2V（充電式電池BN-R129使用）
DC1.5V（市販の単3形アルカリ乾電池使用）
充電時間　BN-R129：約2.6時間
電池持続時間

	ヘッドホン連続再生時間*1		
	SPモード	LP2モード	LP4モード
充電式電池（BN-R129）	約55時間	約75時間	約105時間
単3形アルカリ乾電池	約91時間	約137時間	約194時間
BN-R129+単3形アルカリ乾電池	約153時間	約212時間	約305時間

＊1　リモコンはパワーセーブモード、サウンドは「NORMAL」モードのとき付属のヘッドホン（32Ω）を使用した場合
周囲の温度や使用状況により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

アラーム
スリープタイマー　1分〜99分（切換式）
最大外形寸法　幅77.3mm×高さ18.8mm×奥行83.2mm
幅75.8mm×高さ18.4mm×奥行82.6mm（突起部を除く）
質　量　約109g（充電式電池含む）
約82g（本体のみ）
充電スタンド（AC-R1215）　入力：DC6V（付属のACアダプター使用）
出力：DC1.2V、650mA

● JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
● 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付　属　品

ヘッドホン…………1

充電式電池（BN-R129）……1

リモコン……………1

充電スタンド（AC-R1215）…1

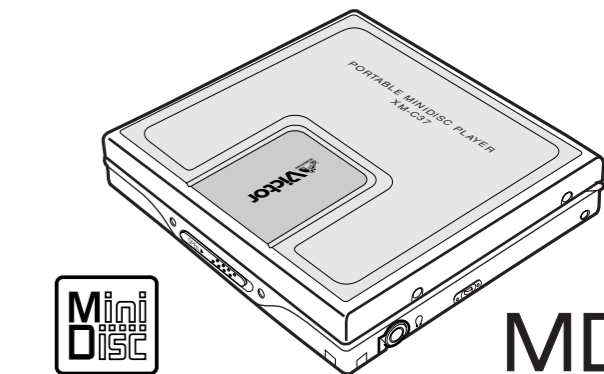
キャリングポーチ………1

ACアダプター（AA-R501）…1

乾電池ケース………1

Victor　取扱説明書

ポータブルMDプレーヤー

型名 **XM-C37**

MiniDisc　MDLP

−お買い上げありがとうございます−

⚠ご使用の前に
この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「**安全上のご注意**」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1388-001B

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター
フリーダイヤル 0120-2828-17
携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話（045）450-8950
FAX（045）450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターインターネットホームページアドレス
http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

0905 MOMSAN JEM

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。

● **表示の注意文を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を次のように区分し、説明しています。よくお読みのうえ正しくお使いください。**

表示	内容
危険	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示しています。
警告	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示の注意文を守らないと、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の内容

注意をうながす記号

一般的注意　感電

行為を指示する記号

一般的指示　ACアダプターを抜く

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水ぬれ禁止

充電式電池について

⚠危険

■専用の充電スタンド(AC-R1215)で充電する

・指定以外の充電スタンドを使うと、電池の液もれや発熱、破裂の原因となります。**充電は本体に入れて行います。**

■以下のことを守り正しく取り扱う

・⊕と⊖は、機器の表示のとおり正しく入れる。
・⊕と⊖の端子をショートさせない。また金属性のネックレスやコインなどと一緒に携帯しない。
・加熱したり分解,火の中に入れない。
・外装チューブをはがしたり、傷をつけない。
・火のそばや高温になる場所で使用したり充電しない。
・充電中、発熱や変形その他今までと異なることに気づいたら充電を中止してください。
・長時間使用しないときは、本体から取り出しておく。

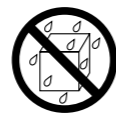
●取り扱いを誤ると、電池の液もれによりけがや周囲を汚す原因となります。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

本体について

⚠警告

■自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない

・運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
・また、歩きながら(特に踏切や横断歩道など)使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■水をかけたりぬらしたりしない

・機器を水がかかる場所(風呂場や台所など)で使用すると、内部に水が入り、火災や感電の原因となります。
・万一、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り販売店にご連絡ください。

■分解・改造しない

・内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
・点検や修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

■大音量で長時間つづけて聞きすぎない

・耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
・はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

■充電式電池を機器に入れるときは、極性表示(⊕と⊖の向き)に注意し、機器の表示通り正しく入れる

・間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲を汚す原因となります。

充電スタンドについて

⚠危険

■専用のACアダプター(AA-R501)を使う

・指定以外のACアダプターを使うと、故障や火災の原因となることがあります。
・XM-C37専用の充電スタンドです。他の機器の充電はしないでください。

ACアダプターについて

⚠警告

■電源は、交流(AC)100Vを使う

・指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
・充電式電池：BN-R129専用の充電スタンドに使うACアダプターです。他の電池の充電には使用しないでください。

■プラグは定期的に清掃する

・プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁が悪くなり火災の原因となります。プラグを乾いた布で清掃してください。
・充電が終ったら、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店にACアダプターの交換を依頼する

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物を乗せたりしない

・コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ACアダプターは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず本体を持って抜いてください。

乾電池について

⚠警告

■乾電池は正しく取り扱う

・⊕と⊖は、電池ケースの表示のとおり正しく入れる。
・充電しない。
・加熱したり分解,火の中に入れない。
・長時間使用しないときは、乾電池ケースから取り出しておく。

●取り扱いを誤ると、電池の液もれによりけがや周囲を汚す原因となります。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

■本機は精密に作られています。本機に強い衝撃を加えたり、落下させないでください。故障の原因となります。

■本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。
・窓を閉めきった自動車の中(とくに夏期)
・風呂場など湿気の多いところ
・ホコリの多いところ
・直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
・腐食性のガスなどが発生するところ

■航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。必ず機内では電源を切っておいてください。

■充電式電池について

・充電中は、ACアダプターが熱を持ちますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで充電すると、AM放送に雑音が入ることがあります。
・充電は周囲の温度が10℃～35℃の所で行ってください。
・持ち運びや保管するときは、付属の電池ケースをお使いください。
・長時間使用しないときは、充電式電池の性能劣化を防ぐため半年に1回以上充電しておいてください。
・十分に充電しても使える時間が通常の半分以下になったときは、新しい充電式電池と交換してください。充電式電池の寿命です。
・ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

■電池を交換するときは、必ず電源を「切」にしておいてください。

・電源「入」のまま交換すると、設定が変わったり故障の原因になることがあります。

■操作中の動作音について

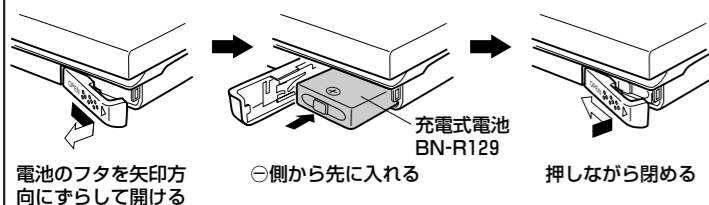
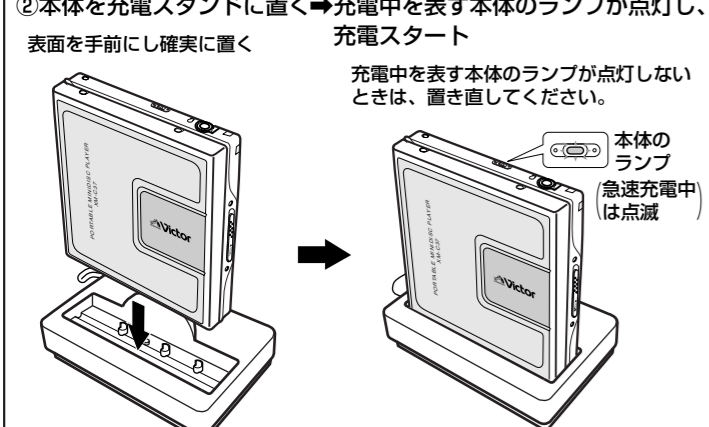
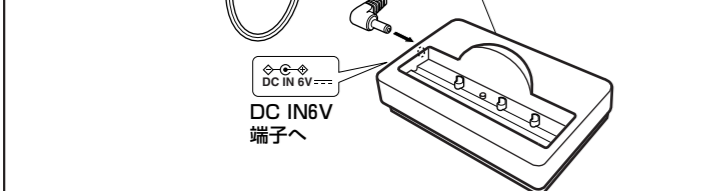
・本機は、省電力の動作方式になっています。このため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

電源を準備する

充電式ニッケル水素電池：BN-R129(以下、充電式電池といいます)で使う

1 電池を本体に入れる

2 充電する(電池は約300回充電できます)

②本体を充電スタンドに置く➡充電中を表す本体のランプが点灯し、充電スタート

・急速充電機能について
本機は20分充電時で約15時間(LP4モード時)再生できます。

電源「切」で充電スタンドに置くとき、リモコンを接続したまま充電すると「CHARGE」(急速充電中は「[CHARGE]」)が表示されます。
充電しながら再生すると、本体のランプが点灯したままになり、リモコンの「CHARGE」は表示されません。

●最大約2.6時間で充電が終わり、充電中を表す本体のランプが消えます。

3 充電が終わったら充電スタンドから外す

・リモコンが接続されていたときは、充電が終ると「CHARGE」の表示が消えます。

●初めて充電するときや長時間使用しなかったときは
充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か充電と再生をくり返すと正常に戻ります。

●電池残量表示について

リモコンの表示窓に表示されます。電源を入れたとき、電池容量を確認するため約15秒間 [電池マーク] の表示になります。

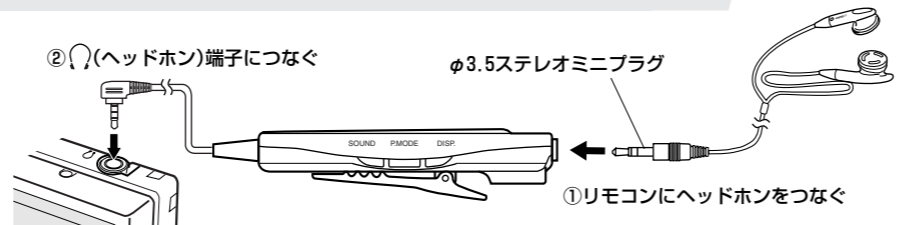
(No Disc表示のときは、残量表示が変わりません。MDを入れて確認してください)

[電池マーク]：この表示のときは、電池残量が少なくなっています。完全に消耗すると、「LOW BATT」表示のあと電源が切れます。

⬇

充電スタンドに置いて充電する。
充電スタンドに置くと、電池残量表示が消えます。

MD(ミニディスク)を聞く

1 リモコンとヘッドホンをつなぎ本体に接続する

(必ずプラグの部分を持って抜き差しします。プラグの接続が不十分なときは、音が出なかったり表示窓が点灯しない原因となります)

2 MDを入れる

①両端を持ってOPEN▶を右にずらし、ふたを開ける。
(MDが入っていたときは出てきます)

②ラベル面を上にし、ふたに平行のままホルダーにロックするまで差し込む。
(誤ってメカニズムの部分には入れないでください。ツメを曲げると故障の原因となります)

③ふたを閉める。電源が入り、本体のランプが数回点滅したあと収録状態を表示します。リモコンに「HELLO」➡「T.READ」が表示されたあと曲番号と演奏時間表示に変わります。

3 聞く

本体 / リモコン

3-1 演奏する

・「HELLO」が消えてから押します。
1曲目から演奏が始まります。
本体のランプが約1秒ごとに点灯します。
表示窓の◀がTRACKを指します。

本体 / リモコン

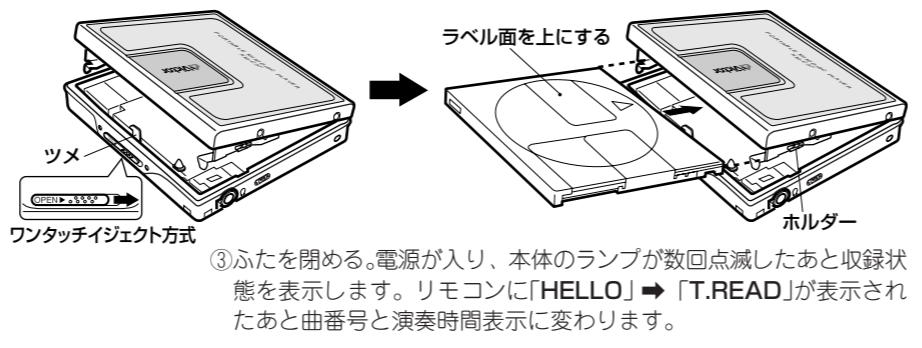
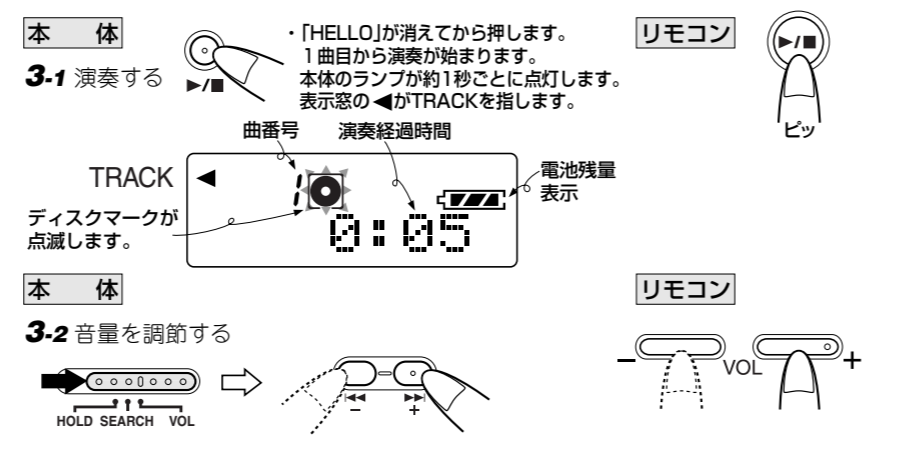
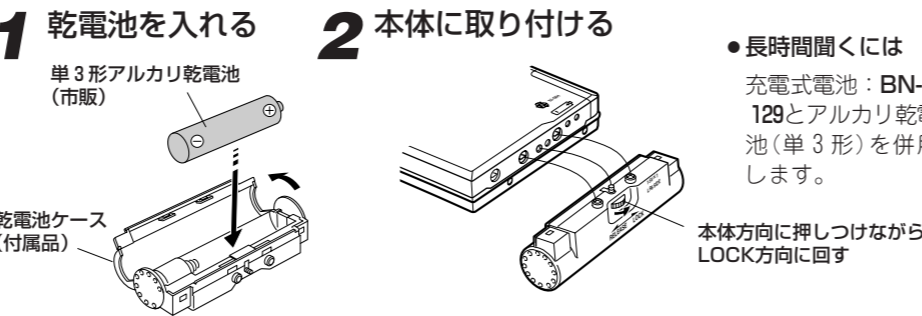
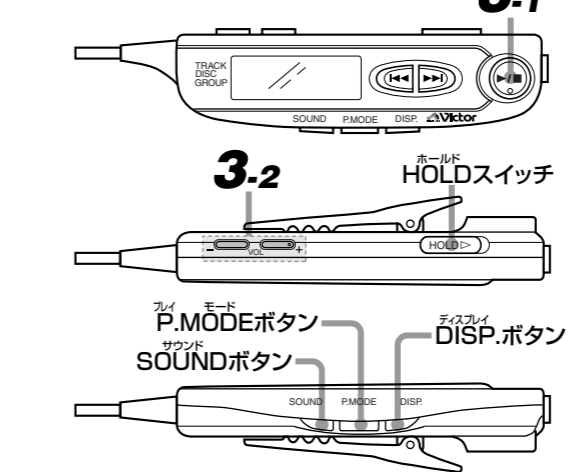
3-2 音量を調節する

・調節範囲はVOL 0～VOL 25で、押し続けると連続して変わります。
操作時は、表示窓に音量が2秒間表示されます。
・グループ内の曲だけ聞きたいときは、**P.MODE**ボタンを使います。
➡「くり返し聞く(リピート演奏)/ランダム演奏」参照

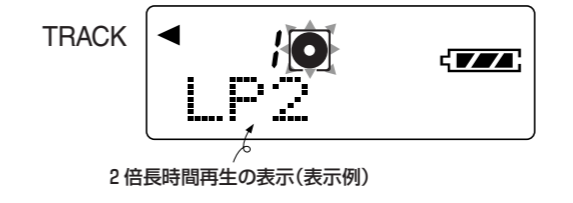
アルカリ乾電池(市販)で使う

1 乾電池を入れる

2 本体に取り付ける

●長時間聞くには
充電式電池：BN-R129とアルカリ乾電池(単3形)を併用します。

●再生モードの表示について

本機は**MDLP**に対応しております。したがって録音モード(SP、LP2またはLP4)に関係なく演奏できます。DISP.ボタンをくり返し押すと、表示窓にSP、LP2またはLP4が表示されます。

2倍長時間再生の表示(表示例)

- SP ：標準のステレオ再生(MD80で最大80分)
- LP2 ：ステレオ2倍長時間再生(MD80で最大160分)
- LP4 ：ステレオ4倍長時間再生(MD80で最大320分)

(MONOは、通常の2倍の時間でモノラル録音されているMDの再生のとき表示されます)

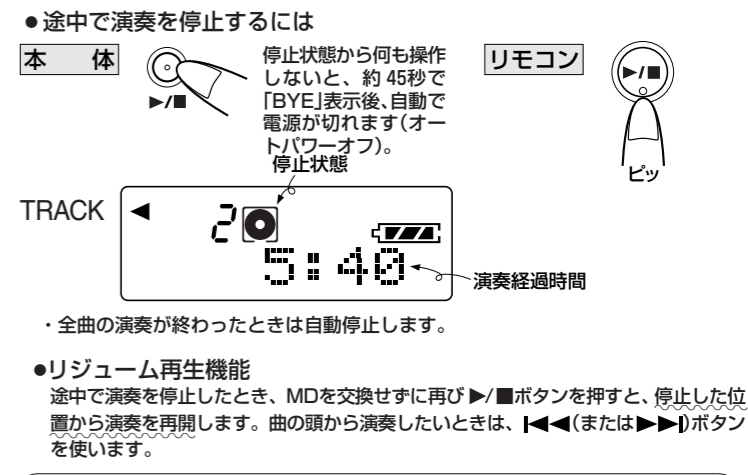
〈お知らせ〉

- MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは標準モード(SP)で再生できます。
- 本機は、歩行中などでたとえ振動しても安心な最大210秒(LP4時)音飛びガードメモリーを搭載しております(ジョギング時などの連続した振動は除く)。

●途中で演奏を停止するには

本体 / リモコン

・全曲の演奏が終わったときは自動停止します。

●リジューム再生機能
途中で演奏を停止したとき、MDを交換せずに再び▶/■ボタンを押すと、停止した位置から演奏を再開します。曲の頭から演奏したいときは、|◀◀(または▶▶|)ボタンを使います。

誤操作を防ぐには

カバンなどに入れて持ち運び中の思わぬ誤操作を防ぐことができます。本体とリモコンそれぞれにHOLDスイッチがあり、別々にホールド状態(誤操作防止状態)にすることができます。

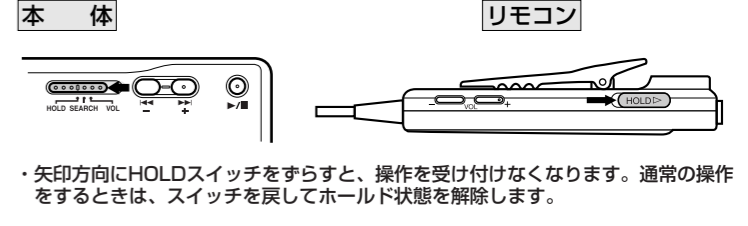
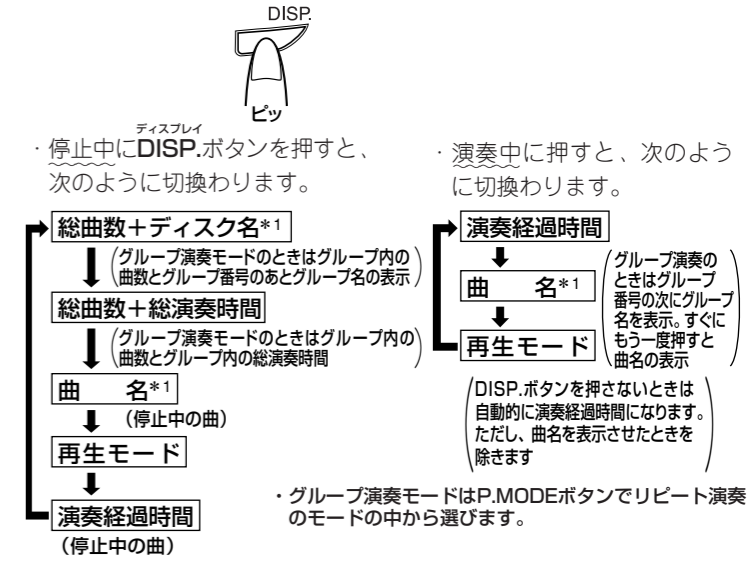
本体 / リモコン

・矢印方向にHOLDスイッチをずらすと、操作を受け付けなくなります。通常の操作をするときは、スイッチを戻してホールド状態を解除します。

リモコンの表示を切換えるには

・停止中に**DISP.**ボタンを押すと、次のように切換わります。

・演奏中に押すと、次のように切換わります。

・グループ演奏モードはP.MODEボタンでリピート演奏のモードの中から選びます。

ディスク名や総曲数を表示しているときは、表示窓の◀がDISCを指します。

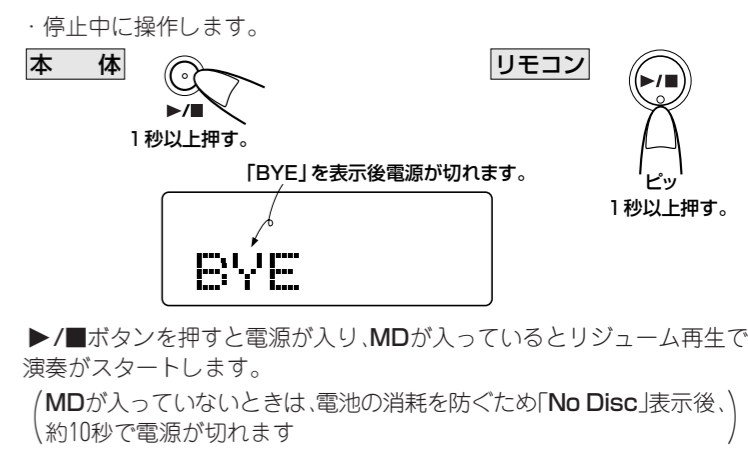
*1 9文字以上はスクロール表示されます(最大で80文字まで表示可能)。ディスク名や曲名、グループ名が記録されていないときは音符マーク(♪♪…)が表示されます。

電源を切るには(電源「切」)

・停止中に操作します。

本体 / リモコン

▶/■ボタンを押すと電源が入り、MDが入っているとリジューム再生で演奏がスタートします。

(MDが入っていないときは、電池の消耗を防ぐため「No Disc」表示後、約10秒で電源が切れます)

便利な機能を使う

サウンドやサラウンドのモード/サウンドを変える

- D-AHB（デジタル アクティブハイパーバス）：((S))が表示され、音量に合わせて重低音が自動的にコントロールされます。
- ENERGY（エナジー）*1：((S))が表示され、臨場感あふれる音になります（デジタルサラウンド）。
- MANUAL（マニュアル）：((S))が表示され、サウンドの調節ができます（4バンドEQ*2）。
- V-CANCEL（ボーカル キャンセル）：((S))が表示され、ステレオ音楽のボーカルが弱められます。
- TRAIN（トレイン）：((S))が表示され、ヘッドホンの音漏れ（シャカシャカ音）が低減されます。

・押すごとにモードが変わります。

（サウンドやサラウンドのモードを変えたりサウンドを調節するとき音切れしますが故障ではありません）

*1 お買い上げ時のモードです。サウンドのモードを変えると、変えたモードが表示されます。
*2 低音域と高音域のそれぞれ2バンドが調節できます。

●サウンドのモードを変える

1 SOUND をくり返し押して「ENERGY（エナジー）」を表示させる

・表示窓に((S))が表示されます。「ENERGY」表示中に手順**2**へ進む。

2 SOUND を2秒以上押して「ENERGY」を点滅表示させる

8秒以内に

3 ▶▶I または I◀◀ を押してサウンドのモードを選ぶ

逆に選べます。

・これ以降手順**1**の表示は、ここで選んだサウンドのモードに変わります。
・3Dモードとはデジタルサラウンドのことです。

- ENERGY：エネルギッシュな臨場感（3Dモード1を使用）
- CRYSTAL：透明感のある響き（3Dモード2を使用）
- SUBWAY：騒音のある所でも聞きやすい音場（コンプレッション）
- HEARTFUL：包み込むような広がりのある響き（3Dモード3を使用）

●サウンドを調節する（低音域／高音域と3Dモードの調節）

1 SOUND をくり返し押して「MANUAL（マニュアル）」を表示させる

・表示窓に((S))が表示されます。「MANUAL」表示中に手順**2**へ進む。

2 SOUND を2秒以上押して「------ 0」を表示させる

16秒以内に

3 ▶▶I または I◀◀ を押して調節したいバンドまたは3Dモードを選ぶ（点滅している項目が調節できます）

16秒以内に

4 −VOL+ で好みの音質に調節する

- EQのバンドは0±3（3dBステップ）で調節できます。
- 手順**3**と**4**をくり返して好みのEQのバンドまたは3Dモードを調節します。
- 調節後16秒で元の表示に戻ります。すぐ戻したいときはSOUNDボタンまたは▶/■ボタンを押します。

リピート演奏/ランダム演奏/グループ演奏

リモコンのP.MODE（プレイ モード）ボタンを押すと曲をくり返したり、ランダム（無作為）な順番で聞くことができます。グループ内の全曲くり返しもできます。

停止中に

・押すごとに次のようにモード表示が変わります。

- ↻1：1曲くり返し
- ↻：全曲くり返し
- RND：ランダムに全曲のくり返し（表示窓にRANDOMが表示されます）
- GR と↻：選ばれているグループ*内の全曲くり返し（表示窓にグループ番号の次にグループ名が表示されグループモードになります。◀がGROUPを指し、しばらくするとTRACKに移ります）
- 表示なし（停止状態）

例：グループ内の全曲くり返し

リピートモード表示
グループ演奏表示
GROUP
グループモードを表します。
グループ番号

▶/■ボタンを押すと、選んだリピートモードで演奏されます。この例ではグループ内の全曲くり返しになります。

＊グループとは…
グループ機能を搭載の機器で録音したMDに限り対応しています。MDLP機能により1枚のMDに録音した多くの曲を、例えばCDごとまたはアーティストごとなどに分けたまとまりのことで、グループ分けされていないMDは、このモードにはなりません。

通常の演奏中に

・P.MODEボタンを押すごとに演奏状態が選べます。

- ↻1：1曲くり返し
- ↻：全曲くり返し
- A-B：A-B表示点滅中にDISP.ボタンを押した A点とB点の間のくり返し（A-Bリピートといい、語学の勉強などに便利です）
- GR と↻：選ばれているグループ内の全曲くり返し（表示窓にグループ番号の次にグループ名が表示されグループモードになります。◀がGROUPを指し、しばらくするとTRACKに移ります）
- 表示なし（通常の演奏）

〈お知らせ〉
●グループ分けされていない曲を演奏中にP.MODEボタンでグループモードに切換えると、グループ分けされている曲にスキップします。

アラーム機能を使う

電車の乗り過ごし防止などに使うと便利です。

1 DISP. を2秒以上押す➡「ALARM（アラーム）」と「◢」が表示されます

・T30:00 と ◢ 表示に変わります。

お買い上げ時のアラーム時間（30分）表示。もう一度DISP.ボタンを押すかまたは8秒間何もしないと、元の表示に戻ります。

8秒以内に

2 ▶▶I または I◀◀ でアラーム時間を設定する

・00分〜99分の範囲で設定できます。設定した値がメモリーされます。手順**1**のまま（お買上げ時は30分）で使うときは、この操作は必要ありません。
・I◀◀ または ▶▶I ボタンを押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。
・▶/■ボタンを長押しすると設定が解除され元の表示に戻ります。

8秒以内に

3 ▶/■ を押す

・◢が点滅に変わり、アラーム時間がカウントダウンします。
このときDISP.ボタンを押すと元の表示に戻ります。
⋮
T00:00 になると、アラーム（ピッ・ピッ・ピッ音）が約30秒間鳴ります。この間再生音は聞こえません。途中でアラーム音を止めるときは、いずれかのボタンを押します。

MDのグループスキップ

（グループ分けはグループ編集機能のある機器で行います）

グループモードのときに限り操作できます。DISP.ボタンを押して表示窓の◀をGROUPに合わせ（この状態をグループモードといいます）、I◀◀または▶▶Iボタンを押します。押すごとにグループが選べます。停止中の場合 ▶/■ボタンを押すと、選んだグループ内の曲だけくり返して聞くことができます。

・グループ演奏中のグループスキップ➡ DISP.ボタンを押して表示窓の◀をGROUPに合わせ、グループ番号またはグループ名表示中にI◀◀または▶▶Iボタンを押します。押すごとにグループが選べます。

リモコン操作時の「ピッ」音を鳴らなくする

（SOUNDボタンまたは音量調節時は、キーを操作しても「ピッ」音が出ません）

・停止中または演奏中に…

・「BEEP（ビープ） OFF」が表示され、キーを操作しても「ピッ」音は出なくなります。

元に戻すときは、もう一度同じ操作をします（BEEP ONが表示されます）。

表示文字のコントラストを変える

周囲温度によっては文字スクロール時などで文字が見ずらいときは、コントラストを調節します。

・停止中または演奏中に…

のいずれかを押す

・「LCD00〜LCD15」の範囲で調節できます。I◀◀ または ▶▶I ボタンを押し続けると連続して変わります。
お買い上げ時は「LCD 07」に設定されています。

スリープ機能を使う

音楽を聞きながらおやすみになるとき便利です。

1 DISP. を2秒以上押したあと P.MODE を押す

・ALARM➡SLEEPに変わり、スリープ時間と♥が表示されます。もう一度P.MODEボタンを押すと、ALARMに戻ります。

8秒以内に

2 ▶▶I または I◀◀ でスリープ時間を設定する

・00分〜99分の範囲で設定できます。設定した値がメモリーされます。
手順**1**のまま（お買上げ時は30分）で使うときは、この操作は必要ありません。
・I◀◀ または ▶▶I ボタンを押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。
・▶/■ボタンを長押しすると設定が解除され元の表示に戻ります。
・アラームにすると、このとき設定した時間になります。

8秒以内に

3 ▶/■ を押す

・♥が点滅に変わり、スリープ時間がカウントダウンします。
このときDISP.ボタンを押すと元の表示に戻ります。
⋮
スリープ時間を経過すると、「BYE」が表示され電源が切れます。

パワーセーブモードについて

パワーセーブモードとは、電池の消耗を減らすため再生中に5分以上何もボタン操作をしないと、リモコンの表示窓が自動で消灯する機能のことです。

・停止中または演奏中に…

・「Psave（パワーセーブ） ON」が表示され、パワーセーブモードに設定されます。

パワーセーブモードで再生中は、本体のランプが3秒ごとに点灯します。リモコンのいずれかのボタンを押すと、パワーセーブは一時停止し、表示窓が5分間点灯します。解除するときは、もう一度同じ操作をします（Psave OFFが表示されます）。

その他の使いかた

	本体	リモコン
頭出し（スキップ） （グループモードのときは、グループ内の曲の頭出し）	HOLD SEARCH VOL 戻る 進む ・「ポン・ポン」と押す。	ピッ ピッ 戻る 進む ・「ポン・ポン」と押す。
早送り・早戻し（サーチ）	演奏中に押し続ける HOLD SEARCH VOL 早戻し 早送り	演奏中に押し続ける 早戻し 早送り ピッ ピッ

ミニコンポやラジカセで聞く

LINE INまたはAUX IN端子のある機器とつなぐと、MDの音を聞いたり録音することができます。本機の音量は適度に調節してください。

・操作は本体のボタンを使います。（リモコンで操作すると「ピッ」音が出ます）

・他の機器で録音する場合、リモコンで操作するときは、「ピッ」音が録音されるのを防ぐため「BEEP OFF」に設定してからお使いください。また、サウンドのモードも録音に影響します。「NORMAL」に設定してからお使いください。

・ラジカセのAUX IN端子がステレオミニ端子のときは、CN-203A（別売り）を使います。

接続コード：CN-201A（別売り）
ステレオミニプラグ〜ピンプラグ×2

●車の中で聞くときは

カセットアダプター：CK-101（別売り）を接続コードの代わりに使います。
カセットアダプターは、右ヘッドのカセットデッキに対応しています。

〈お知らせ〉
●リモコンを使わずに接続すると、雑音が出ることがあります。
●接続する機器によっては、他のソース（音源）より音が小さいことがありますが、これは付属のヘッドホンに合わせてあるため故障ではありません。